

# 相生デイサービス新聞

発行所  
相生DS  
44-4165

秋の鼓動を感じて

蟬がなきやんで庭の小さな空には

とんぼがとんでいきます。

朝顔の花の数も

少なくなってきた

ました。蔓が

からまる柱を直

していると裾が

露に濡れていま

した。

名句  
秋立つや  
一巻の書の読み残し

夏目漱石

## → 名句の情景

この句は大正五年九月二日付けて

芥川龍之介に宛てた書簡に添えた一句。

「秋立つ」は漱石自身の人生のたどがれを、

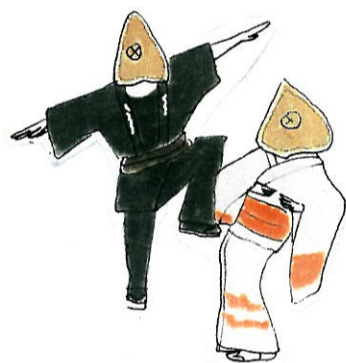
「読み残し」は果たし得なかったものか。この年没。



←どこかな? 答は下に



## 旅...



### おわら風の盆

哀愁を帯びた  
胡弓の音が八尾の町  
に... 9月1日~3日

## “あ 有りの実”

おいしい季節になりました。  
有りの実とは 梨のこと  
「無し」に通じることから  
有りの実と呼んで  
縁起を担ぎます。



上の写真は  
村市黒堀通りの

## — 今月の予定 —

- 10(土) 脳トレ(川島様)
- 14(水) 春さんと仲間たち
- 19(月) 敬老会
- 20(火) 音楽(小林様)
- 21(水) よさこいパバイ
- 22(木) つつじ華の会
- 27(火) 藤美会
- 30(金) フラダンス・ウクレレ  
オカリナ(岡部様)
- 4(日) 義明苑(久保田町)  
納涼祭

- 床屋さん
- 5(月)
- 14(水)
- 22(木)
- 30(金)



## ユーモアくらぶ

思春期の娘が

母親にたずねた。

「お母さん、

どうしてお父さん

と結婚するよう

になったの

母親は感慨深げに

答えた。

「そうかい、おまえ

もそれが不思議

だと思おうように

なっ

たん

ね

だ

ね

## 覚えていますか?

### 秋の七草

- 萩 けき
- 桔梗 ききょう
- 尾花 おしな
- 葛 かつらぎ
- 撫子 なでしこ
- 村き
- 藤袴 ふじばか
- 女郎花 おみなえし



## 天声珍語

折れた枝で

松ぼっくりを

思いつきり打っ

た。

高原の秋の空

に高く舞った

でも...

楽しんでる

場合ではない。

こわれた網戸

やけた古本

伸びた枝

夏のうちに

片付けねば

ならぬものを。

イヤな事は

いつだって後回

し

子供の時も

そうだった

夏休みの宿題

はいつも九月

にずれて先生

の機嫌をそこ

ねた。

(明日は帰って

さっそくに)

松ぼっくりを

また打った。松

ぼっくりは、さら

に高く舞った。スミ